

# 福島県立医科大学医学部 泌尿器科学講座 開講50周年

## 開講50周年 祝賀記念行事

**日時** 平成30年7月21日(土) 午後3時30分より

**会場** ホテル辰巳屋 福島市栄町5-1

- 記念講演Ⅰ 日本泌尿器科学会東北地方会運営委員長 国立大学法人 弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座教授 **大山 力氏**
- 記念講演Ⅱ 一般社団法人日本泌尿器科学会理事長 国立大学法人 神戸大学大学院医学研究科 腎泌尿器科学分野教授 **藤澤 正人氏**
- 記念講演Ⅲ 公立大学法人 福島県立医科大学 理事長兼学長 **竹之下誠一氏**

※記念講演の聴講は招待者のみとなります。一般のご参加は受け付けておりません。



公立大学法人福島県立医科大学 泌尿器科学講座主任教授 **小島 祥敬** ことあひさつ

この度、福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座開講50周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当講座は、前立腺がん・腎臓がん・膀胱がんなどの悪性腫瘍、高齢者に多い前立腺肥大症や過活動膀胱、腹圧性尿失禁や骨盤臓器脱などの女性特有の疾患、小さなお子さんの泌尿器疾患、腎移植、男性の不妊症などを重点領域として診療

にあらためて、また、ロボット支援手術や腹腔鏡手術といった患者さんの負担の少ない手術を開発し、先進的で質の高い医療の実現に取り組みしております。今後さらに県民の皆様のご期待にお応えできるよう精進してまいりますと考えております。県民の皆様には、福島県の泌尿器科医療の発展のため、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ロボット支援手術や 人材の育成にも注力



ロボット支援手術の仕組みを学ぶ県内の高校生。医師を志す若者の教育にも力を入れている

福島県立医科大学泌尿器科学講座は二〇一三(平成二十五)年に当時最新の型の手術支援ロボット「ダヴィンチSiサージカルシステム」を導入した。前立腺がん患者の全摘手術や、腎がん患者に対する部分切除手術などに成果を上げていく。

ロボット支援手術は従来の腹腔鏡手術に比べて①出血量が少ない②傷口が小さい③手術後の痛みや合併症のリスクが少ない④回復が早いなどのメリットがある。

小島祥敬教授は留学先の米国・ペンシルバニア大学でロボット支援手術を習得し、二〇一一年に前任地の名古屋市内立大に導入した。国内におけるロボット支援手術のパイオニアの一人として、名古屋から現在まで約八

百件の症例に携わっている。二〇一三年には日本医師会の医学研究奨励賞を受賞した。

県内では東日本大震災と東京電力福島第一原発事故以降、泌尿器科医が不足している。こうした状況を踏まえ講座では医学部や研修医の教育にも力を注いでおり、講座を巣立った医師が県内各地の病院で活躍している。

近年は医師を志す県内の高校生を手術室に受け入れ、ロボット支援手術の仕組みなどを紹介している。県内高校が開く出前講座でも講師を務めている。

小島教授は「患者の負担がより少ないロボット支援手術の開発を進めるとともに、質の高い医療を提供できる泌尿器科医を一人でも多く育て、県内に根付かせたい」と技術の研さんや後進の育成に意欲を示している。

## 黒田氏が初代教授

### 現在は医師16人が在籍

福島県立医科大学泌尿器科学講座は黒田一秀氏を初代教授として一九六八(昭和四十三)年に開講し、今年で五十周年を迎えた。

第二代会長の白岩康夫氏に移り、一九八四年、講座として初めての腎移植に成功した。

一九九〇(平成二年)にはベトナムのハノイ病院から血液透析の視察を受け入れるなど、透析医療の発展や普及に尽くした。第三代会長の山口脩氏は過活動膀胱や前立腺肥大症など下部尿路機能障害の病態・治療の研究に携わった。過活動膀胱に關しては新薬開発で世界的な業績を残した。

現在の講座には第四代会長の小島祥敬氏を筆頭に医師十六人が在籍している。

前立腺がん・腎臓がん・膀胱がんなどの悪性腫瘍や、前立腺肥大症・過活動膀胱などの下部尿路機能障害、腹圧性尿失禁・骨盤臓器脱などの女性泌尿器科

平均年齢三十六歳と若いメンバーが講座の伝統を継承しながら新たな知見や技術を融合させ、研究や診療に励んでいる。

平均寿命の延伸や医療技術の進歩に伴い泌尿器科医療の対象となる疾患は年々広がっている。泌尿器科学講座は福島県大内の各診療科・講座やメディアカルスタッフ(医療従事者)、関連病院などと協働しながら診療・教育・研究にまい進していく。

- ### 泌尿器科学講座の沿革
- 1966(昭和41)年12月 皮膚泌尿器科学講座から泌尿器科学講座を分離独立する案が可決。
  - 1968(昭和43)年3月 皮膚泌尿器科学講座から独立し、泌尿器科学講座が開講。初代教授に北海道大助教授の黒田一秀氏を迎える。
  - 1971(昭和46)年12月 第3内科と合同で福島腎臓病研究会(現福島腎不全研究会)を創設。
  - 1972(昭和47)年3月 第1回福島泌尿器科集談会(現福島泌尿器科研究会)を開催。
  - 1973(昭和48)年4月 弘前大助教授の白岩康夫氏が第2代教授に就任。
  - 1978(昭和53)年3月 伊達智徳氏が講座開設以来初めての学位を取得。
  - 1980(昭和55)年10月 日本泌尿器科学会の第45回東部連合総会を県文化センターで開催。
  - 1984(昭和59)年1月 秋田大から山口脩氏が講師として着任。講座で初の腎移植手術を実施。
  - 1990(平成2)年10月 ベトナム・ハノイ病院の血液透析視察団が1カ月滞在。
  - 1992(平成4)年5月 第5回老人泌尿器科研究会を県文化センターで開催。
  - 1993(平成5)年6月 講座開講25周年記念祝賀会をホテル辰巳屋で開催。
  - 1994(平成6)年10月 第1回日本神経因性膀胱学会を県文化センターで開催。
  - 1996(平成8)年4月 助教授の山口脩氏が第3代教授に就任。
  - 1999(平成11)年6月 国内3例目となる脳死腎移植を実施。腎移植の技術を確立。
  - 2007(平成19)年6月 第9回日本女性骨盤底医学会をパルセいいざかで開催。
  - 2007(平成19)年10月 第14回日本排尿機能学会をホテルリステル猪苗代で開催。
  - 2011(平成23)年3月 東日本大震災。
  - 2012(平成24)年5月 名古屋市立大大学院から小島祥敬氏が第4代教授に就任。
  - 2013(平成25)年2月 当時最新型の手術支援ロボット「ダヴィンチSiサージカルシステム」を導入し、ロボット支援前立腺全摘除術を実施。導入は国内医療機関で2例目で、東日本では初めて。
  - 2013(平成25)年11月 小島教授が日本医師会の医学研究奨励賞を受賞。
  - 2017(平成29)年9月 腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術が先進医療Aとして認可。
  - 2018(平成30)年3月 講座開講50周年。
  - 2018(平成30)年7月 講座開講50周年記念祝賀会をホテル辰巳屋で開催。